

平成14年度熊本県水産研究センター研究報告会で講演しました

2002年12月11日、水産研究センター（大矢野島）にて、有明海・八代海の水産、環境について研究成果発表会が開催され、21の講演がありました。地域連携を目的に、今回から県下の研究機関も参加し、活発な意



見交換が行われました。熊本大学からは、沿岸域環境科学教育研究センター、理学部地球科学科、自然科学研究科の教官、学生が参加し、4件の話題提供をしました。

—熊本大学関係者の講演題目—

1. 有明海におけるタイラギの大量死と養殖の試み（逸見泰久：沿岸域センター）
2. 有明海・島原湾・諫早湾の堆積物分布図（大久保功史・田中中和・筑紫健一：以上理学部地球科学科3年・秋元和實：沿岸域センター）
3. スサビノリのレトロトランスポゾン遺伝子（瀧尾進：沿岸域センター）
4. ヒラメにおける雄化マーカーの探索（吉永憲史：自然科学研究科博士課程前期1年）

有明海における堆積物の分布について講演する大久保功史君（理学部地球科学科）

第1回沿岸域センター講演会「有明海・八代海の環境研究」を開催しました

2003年1月31日午後、くすの木会館（熊本大学黒髪北地区）にて、最近の有明海・八代海の環境変化について、3名の研究者にご講演いただきました。定員80名の会場に学内外から100名を超える来場がありました。100部用意した資料が、マスコミ（2社）配分までなくなる程の盛況でした。

地域への取り組みも多様です

沿岸域環境科学教育研究センター教員は、国・県などの委員や地元主催の観察会（今年度は14回）講師として地元へ貢献をしています（詳細は各年度のセンター報を参照ください）。

—主な委員—

1. 熊本県希少野生動植物検討委員・調査委員（熊本県）：内野，逸見
2. 八代海域調査委員会委員（国土交通省）：瀧川，逸見
3. 三池港環境影響基礎調査委員会委員（国土交通省）：瀧川，逸見

なお、講演の内容は、ホームページを参照ください。

—講演題目—

1. 「赤潮原因プランクトンの最近の変化」
長崎大学水産学部 松岡数充教授
2. 「有明海の干潟は元気か」
島根大学総合理工学部 石賀裕明教授
3. 「底生有孔虫から水銀汚染を探る」
鹿児島大学総合研究博物館 大木公彦教授

「有明海・八代海総合調査評価委員会」の委員に瀧川清教授が任命されました

有明・八代海の再生法によって国や県が行う総合調査等を基に、この海域の再生に関する評価を行う極めて重要な国の諮問委員会です。瀧川教授は、これまでも「農林水産省有明海のり不作等対策関係調査検討委員会」委員、「有明海海域環境調査委員会」委員、「有明海海域環境モデル専門部会」委員長、また川辺川ダム問題に関連する国土交通省の「八代海海域調査委員会」委員などを歴任中で、有明海・八代海研究の第一人者として、国や県等への指導、提言を行い、大いに貢献中です。